

1 全体像

30周年の記念演奏会ですが、当初の皆さんの位置づけはたしか「あまり派手にはしない」はずでした。それが偏に欲張りな指揮者のせいで4ステージになるわ、急にフランス語の曲を持ってくるなどいろいろ趣向を凝らすわ・・・という感じになりつつあります。困ったものです。しかし幸いに団のレベルも少しずつ上がってきており、いつも言っている「少し背伸びをしないと届かない」ところを目指して練習し、結果として何とか届きそうな（届いたかな？）くらいの感じにまとまると良いと思っています。お客さんも共に、旭混声誕生30歳をお祝いしていただけるような温かいムードで、思い出に残る演奏会にしましょう。

2 各ステージ 演奏のポイント

I 故郷～ *Furusato*

誰もが知っている曲に、B.チルコットによる編曲のテイストが加わったサウンドがポイント。特に半音や二度音程の美しさを意識してハモリを楽しみましょう。

II 初心のうた

木島始の詩には強く訴えるものがあります。戦後71年目となる来年、タイトルの持つ意味をしっかりと表現できるとよいと思います。

III 記念ステージ

私は勝手にこのステージの副題を『絆の未来へ』としました。過去の軌跡を振り返るだけでなく、若い世代にも関心を持ってもらえるような選曲で、仲間作りが次世代へと広がることを期待します。お客さんにもくつろいで楽しんでもらえる雰囲気、自己満足に陥ることなく団員も楽しめるステージに。

IV *Messe G-Dur* （シューベルト）

石川先生、弦楽合奏とソリストの方々の力を借り、最高の雰囲気ですとめのステージを飾りたい。地球上には様々な人種、国、宗教があるけれど、お互いがお互いを認め合うことのできる平和な世界を希求する気持ちが伝えられたら、と思います。最後の *Dona nobis pacem* が感動的に響くように。

3 最後に

私もいつまでできるかわからないので、「今回は最後！」という気持ちで毎回（？）やらせていただいています。今度の演奏会に向けて、引き続き勉強し、良い音楽作りを進めていきますので、皆さんも自信を持って声を出し、練習の成果を最大限発揮できるよう、努力を継続してください。大ホール満員のお客さんが、笑顔でたくさん拍手をしてくださる・・・そんな様子を思い描いて。